工事名　春日居小学校印刷室 増築工事

電気設備仕様書

(1) 工事概要

1. 工事場所　笛吹市春日居町桑戸664-1, 674, 345-2, 345-3, 345-4, 344-3, 347-2, 349-2
加茂157-2, 159-1, 149-2, 146-1, 145, 144, 143-1, 143-2

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積 (m^2)	消防法施行令別表第一	建築基準法別表第一	備考
印刷室(今回増築)	S	1 階建	25.31	7項		増築
			2,615.69			
校舎	RC	3 階建		7項		全体

(注記：延べ面積は建築基準法による表記)

3. 工事種目（○印のついたものを適用する）

建物別及び屋外 / 工事種目	工事種別 印刷室			屋外	備考
受変電設備					
発電設備					
○ 幹線設備	新設一式				
動力設備					
○ 電灯コンセント設備	新設一式				
電話配管設備					
拡声設備					
テレビ共聴視設備					
電気時計設備					
インターホン設備					
トイレ呼出設備					
○ LAN配線設備	新設一式				
監視カメラ設備					
○ 火災報知設備	新設一式				
○ 機械警備配管設備	新設一式				
構内配電線路					
構内通信線路					

(2) 工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されてない事項は、全て 1) による。ただし、2) による場合は、1) によるものと同等とみなす。
1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書　(電気設備工事編・平成 19年)」
「公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編・平成 19年)」
及び「公共建築設備工事標準図　(電気設備工事編・平成 19年)」
2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部の「電気設備工事共通仕様書　(平成 13年版)」
「公共建築工事標準仕様書　(電気設備工事編・平成 16年) 対応追補」
「電気設備改修工事共通仕様書　(平成 13年版)」
「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編・平成 16年) 対応追補」
「電気設備工事標準図　(平成 13年版)
及び「公共建築設備工事標準図　(電気設備工事編・平成 16年) 対応追補」
(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
尚、機械設備工事の工事仕様書及び建築工事の工事仕様書は、各々電気設備工事に準ずる。

2. 工事範囲
設計図書、現場説明及び工事契約書による。

3. 提出書類
現場説明書、工事契約書及び監督員の指示するもの。（○印の付いたものを適用する）

○工程表	○施工計画書	○設備機材等選定表	○機器類製作図	○施工図面
○工程写真	○完成写真	○試験成績書	○機器類完成図	○完成図面
○保証書類	○取扱説明書	○届出書類の控え	○機器材納品書	○工事日報

4. 特記仕様
(1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項において選択する内容の事項は、○印の付いたものを適用する。
(3) その他細部については、監督員の指示による。

項目	特記事項
① グリーン購入法	グリーン購入法に該当する品目は、その判断基準よる仕様を満足すること。
② 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書（「設備機材等選定表」を含む）に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は監督員の承諾を受ける。 化学物質を発散する建築材料等はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 尚、ホルムアルデヒドを発散しないものとは JIS及び JISの F☆☆☆☆表示建築材料を、ホルムアルデヒドの発散が極めて少ないものとは JIS及び JASの F☆☆表示建築材料又は同等品を云い、原則として F☆☆☆☆表示建築材料を使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、F☆☆表示建築材料又は同等品を使用するものとする。

項目	特記事項
③ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。
④ 工事写真	建設省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真の撮り方（最新版）建築設備編」による。
⑤ 発生材の処理	1) 引渡しを要するもの　⊙ 無し ・ 有（　　） 2) 引渡しを要するもの以外 構外搬出とし、搬出及びその処理は　・ 別途工事とする。 ⊙ 本工事とする。 3) 特別管理産業廃棄物　⊙ 無し ・ 有（ PCB 使用機器：　　） PCB 使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引渡す。 4) 再利用又は再資源化を図るもの　・ 無し ・ 有（現場監督職員の指示による　　） ⊙ 現場説明書による。
6 残土処理	・ 埋戻し後の建設残土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。 ・ 現場説明書による。　・ 場外搬出処分とする。
⑦ 電線本数管路など	分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配線経路は、電線太さ、電線本数及び管経等は監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。 また、機械室等の床配線は図面上 PF 管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。
⑧ 使用電線管	特記なき電線管は、合成樹脂可とう電線管（ PF一重管）とし、ボックス及び附属品等も樹脂製とする。露出配管はネジナシ電線管 (EP)とする。 ただし雨線外の露出部分は、薄鋼電線管 (CP) を使用すること。
⑨ 予備配管	埋込形の盤類には、予備配管を設ける。[予備回路×3 までは (22) 相当を 1本、×4 以上は (22) 相当を 2本とし、予備スペース 1に対して (28) 相当を各 1本天井内まで立ち上げる]
10 導入線	予備（空）配管には、太さ 1.2mm以上の被覆鉄線を挿入する。
11 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。(プライマー処理後、SOP2回塗り指定色仕上) ・ 屋外（　　）・ 屋内（　　）
⑫ 産廃物の適正処理	施工に際して発生する建設副産物は、関係法令に従って適切に処理すること。
⑬ 寸法・形状	本設計図のうち、機器姿図等に記入の寸法・形状は参考とする。
⑭ 盤類の鍵	盤類の鍵は、基本的に 200番とし、使い分けが必要な場合は 550番と併用する。
15 電磁開閉器用	遠方操作用押ボタンは、連用形とする。
⑯ スイッチ	⊙ タンブラ JIS連用大角形　⊙ ネーム付（印刷文字）　・ ワイド形
⑰ コンセント	図面に特記なき場合は、コンセント 2P15A（接地極付）は、プラグ不要とする。
⑱ フロアコンセント	プラグ収納形　⊙ アップ形　・ 上下動形
⑲ プレートの材質	フラッシュプレート　⊙ 金属製　・ 樹脂製
20 ローテンションアウトレット	フロアプレート　・ 砲金製　・ アルミ合金製 ・ ＯＡ対応形（大口）・ 片口形　・ 両口形
21 保安器用接地	・ 本工事　・ 別途
㉒ 接地極埋設標	屋外灯を除く接地極埋設個所には接地極埋設標（金属製・国土交通省形）を取付けること。
23 地中線の埋設標	構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は次による。 ・ 鉄製（　箇所）　・ コンクリート製（　箇所）
㉔ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
㉕ 環境対策型製品（線ケーブル類）	電線ケーブル類は、環境対策型「エコマテリアル」(EM) 製品を使用する。 但し、既製品のない種類の物は監督職員の承諾を得ること。 EM電線等で規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料により構成されているものとし、次の記号、仕様による。

記号	仕様
EM-UTP	JIS X 5150 (UTP)に準じ、シースに JCS規格による EMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
EM-CEES	JIS X 4258 D(制御用ケーブル(遮へい付))に準じ、絶縁材及シースに JIS規格による EMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
EM-MEES	JCS 271(MVVS) に準じ、シースに JCS規格による EMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの

㉖ 取付高さ　壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名称	測点	取付高さ(mm)
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100
〃 （踊場）	〃	2,500
〃 （鏡上）	鏡上～中心	150
避難口誘導灯	床上～下端	1,500 以上
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000 以下
スイッチ （一般）	床上～中心	1,300
〃 （身体障害者用）	〃	1,100
コンセント,電話アウトレット,直列ユニット	〃	300
〃 （和室）	〃	150
コンセント(車庫)	〃	800
子時計、スピーカ	〃	(天井高) * 0.9
アッテネータ	〃	1,300
出退表示盤（表示灯）	〃	(天井高) * 0.8
発信器 （出退表示用）	〃	1,300
インターホン	〃	1,500
身体障害者用インターホン子機	〃	1,100
呼出ボタン（身体障害者用）	〃	900
復帰ボタン（　〃　）	〃	1,800
廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000

備考：(天井高) * 0.9 及び (天井高) * 0.8 は大凡天井高が2,500～3,000mm の場合に適用する。

項目	特記事項
㉗ その他	⊙ 機材メーカーに拠る施工要領で禁止事項及び注意義務は施工者の責任施工とする。 ⊙ ケーブル配線等、防火区画貫通個所は、耐火処置を施すこと。 ・ 屋外（多湿所）に使用するプルボックス、支持金物及びビス類はステンレス製とすること。 ・ 波付硬質ポリエチレン管（FEP）は難燃性製品を使用すること。 ・ 波付硬質ポリエチレン管より建物、盤及び露出立上がり箇所は、異種管接続材を使用し厚鋼電線管等にて施工すること。(耐震処置例による) ・ 屋外より地下ピットへの配管飛込み部分は、つば付スリーブ、防水用止水材を使用し防水処置を行う。 ・ 地中配管口には、湿気、泥水、小動物及び危険性ガス等が浸入せぬ様、管口止水材（パテ、シール等）を使用すること。 ⊙ 建築構造上のエキスパンジョイント箇所は、配線上支障なき様処置すること。 ・ ハンドホール、プルボックス内では、ケーブル本数及び、点検等を考慮しケーブル支持金物などを設ける。 ⊙ ハンドホール、幹線用プルボックス及び、分電盤等要所の電線等には、プラスチック製の名札を取付け、配線サイズ、系統種別、行先、施工年月日及び施工者名を刻印表示する。 ⊙ 断熱施工する外壁面取付の位置ボックスには、結露防止材を使用すること。 ⊙ 図面に特別指示なくも技術上、構造上、美観上当然必要とみとめられるものは請負者負担において、良心的に行うものとする。 ・ 引込み取付け点は、電力会社,NTT,CATV等 関係担当員と協議の上決定する。
㉘ 機器類の施工	メーカー建材・製品・電気及び機械設備機器類の施工については、工事標準仕様書によるほかメーカー仕様書に基づき責任施工とし、メーカー立会いのもと施工状況を確認し完成届を監理者に提出する事。 完成届受理後、監理者は検査を行なうが、メーカー建材・製品・設備機器類、施工の瑕疵については、監理者は責任を負わない事とする。

5. 凡例

図中特記なきシンボル等は JIS-C-0303-00 に準拠。(細目は、平面図等による)

(3) 設備機材等選定表（下記以外は監督員の承諾を得ること）

機材名	指定メーカー					
分電、制御、端子盤類	新星	新日	小林	誠和	大成プラント	
照明器具類	三菱	松下	東芝	日立	岩崎	大光
火災報知機器	能美	松下	沖電気	ホーチキ	ニッタン	
配線器具類	松下	東芝	神保	寺田	明工社	アメリカン
電線ケーブル類	JISマーク表示品、又はJISマーク表示許可工場					
電線管、付属品類	同上					

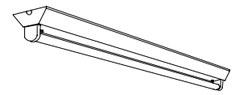
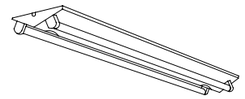
(4) 工事区分表（○印が適用を示す）

他工事との取り合い（工事内容）		電気	機械	建築	別途	備考
電力会社の引込工事負担金						
電話・有線等の加入金						
配管、配線用の梁、	補強			○		
壁等構造体貫通部の	スリーブ仮枠	○				
埋込形分電盤	補強			○		
プールボックス類の	仮枠	○				
埋込照明具の天井下地開口及び補強						
ダウンライトの天井切込開口補強		○				スピーカー及び火報感知器等共
屋内、外に設置する	屋内、上					
機器類の基礎	屋外					
キュービクル・発電機廻りのフェンス						
壁、床、天井に設ける点検口				○		
別途機器等への接続(直接接続するもの)		○				
自動扉等の2次側配線						
誘導標識・消火器					○	
電話機器及び配線						
電波受信障害調査及び対策						
換気扇			○			
同上電源及びスイッチ配線		○				シックハウス用共電気設備工事
ガス漏れ警報器					○	リース対応品
各槽類の電極（含む、保持器）						
同上電極等の長さ又は設置位置指示						
昇降機のインターホン機器						
同上配管・配線						

承認	設計	担当	企画	縮尺
				設計年月日

工事名称　春日居小学校印刷室 増築工事
図面名称　電気設備工事 特記仕様書
E-1
NO

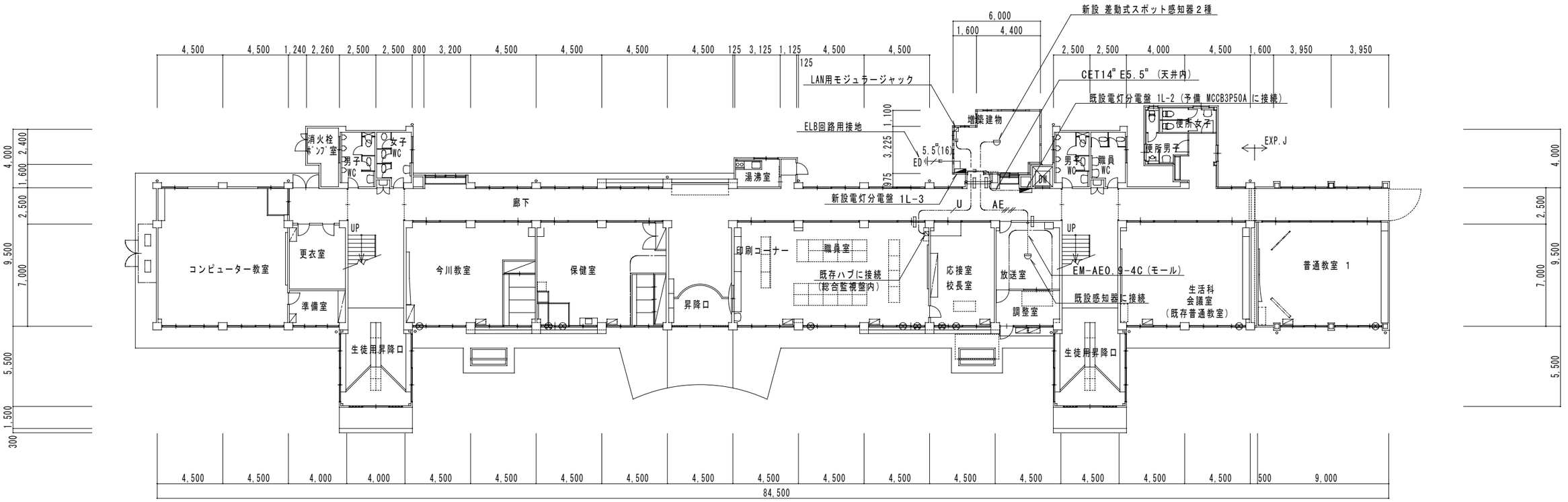
盤名称 主幹開閉器 電源方式 キャビネット方式	回路番号 100 V	回路番号 200 V	負荷容量 VA	負荷容量 KW	負荷名称	分岐開閉器 MCCB	ELCB	R-RY	AF	AT	方式 操作制御	スイッチ 操作制御	備考
1L-3													
		1	2330		エアコン屋内機		2P		50	20			
1L-2より 1φ3W 100/200V	1		300		電灯		2P		50	20			
14°	2		630		コンセント		2P		50	20			
	3		600		コンセント		2P		50	20			
	4		600		コンセント		2P		50	20			
MCCB3P 50/50A	5		600		コンセント		2P		50	20			
	6		1350		コンセント		2P		50	20			
	7				予備		2P		50	20			
	8				予備		2P		50	20			
計 6,410 VA													
鋼板製 埋込形 指定色仕上													

A	Hf 32W *1	B	Hf 32W *2		
					
	FSS9-321 PH1		FSS9-322 PH1		

照明器具 姿図

操作制御方式、スイッチ記号は国土交通省大臣官房庁営繕部設備課監修基準図に依る。
分岐 MCCB 2P50/20AIは 協約形 1極サイズを使用の事。

承認	設計	担当	企画	縮尺	工事名称	春日居小学校印刷室 増築工事	E- 2
				設計年月日	図面名称	分電盤 結線図,照明器具 姿図	NO



1 階平面図 S=1/200

凡 例

既存コンクリート壁 貫通,補修(天井内)

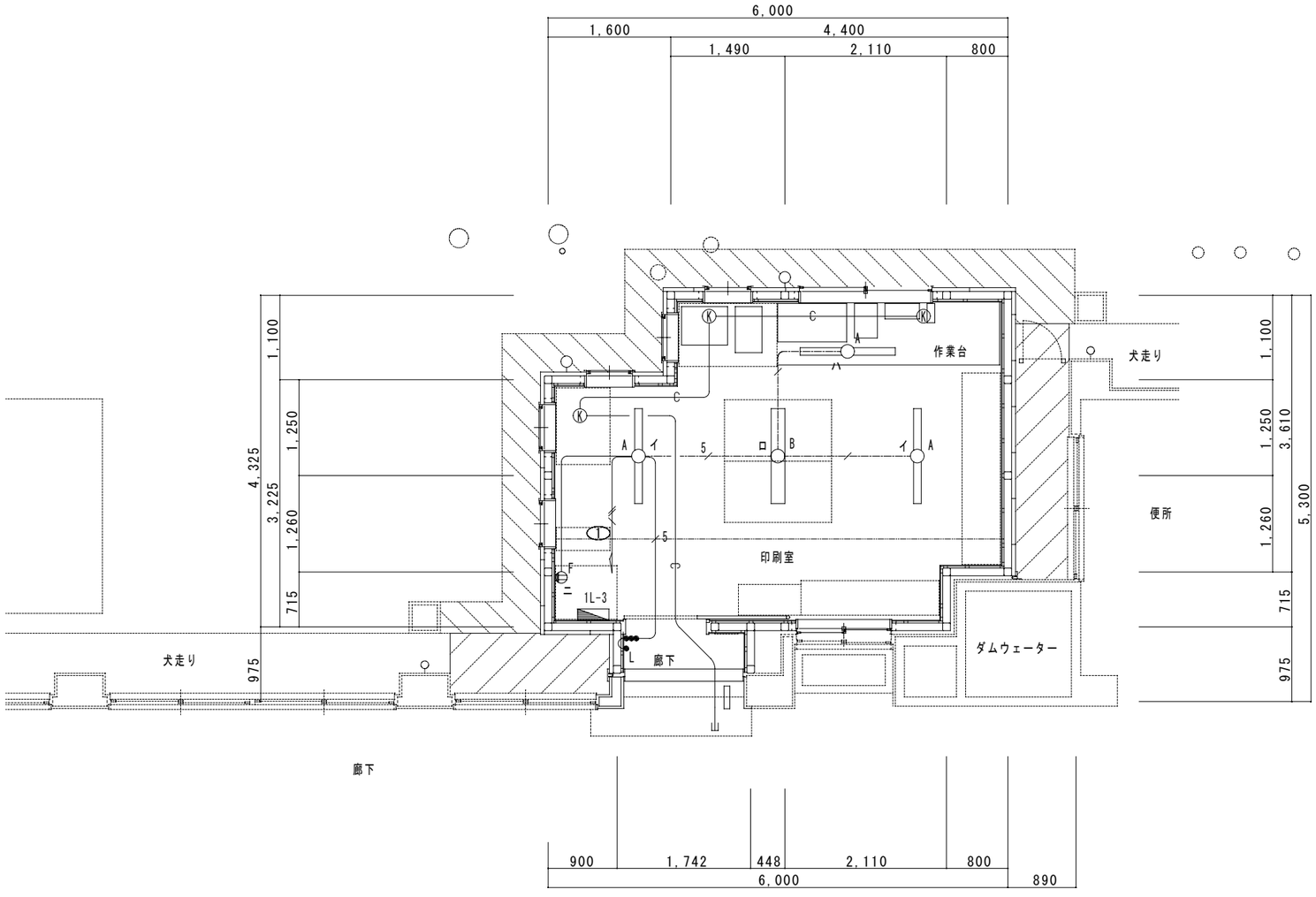
特記なき配管配線は下記による

U UTP-6 4P LAN
AE EM-AE0.9-4C 火報

注 記

1、壁内ケーブルは PF,E 管にて保護の事。

承認	設計	担当	企画	縮尺 S=1/200	工事名称 春日居小学校 印刷室 増築工事	E- 3
				設計年月日	図面名称 幹線,弱電 設備図	NO



特記なき配管配線は下記による

- IE1.6*2 PF(16)
- 5 IE1.6*5 PF(22)
- IE2.0*2 E2.0 PF(16)
- EEF1.6-3C
- 5 EEF1.6-2C+3C
- C PF(16) 機械警備

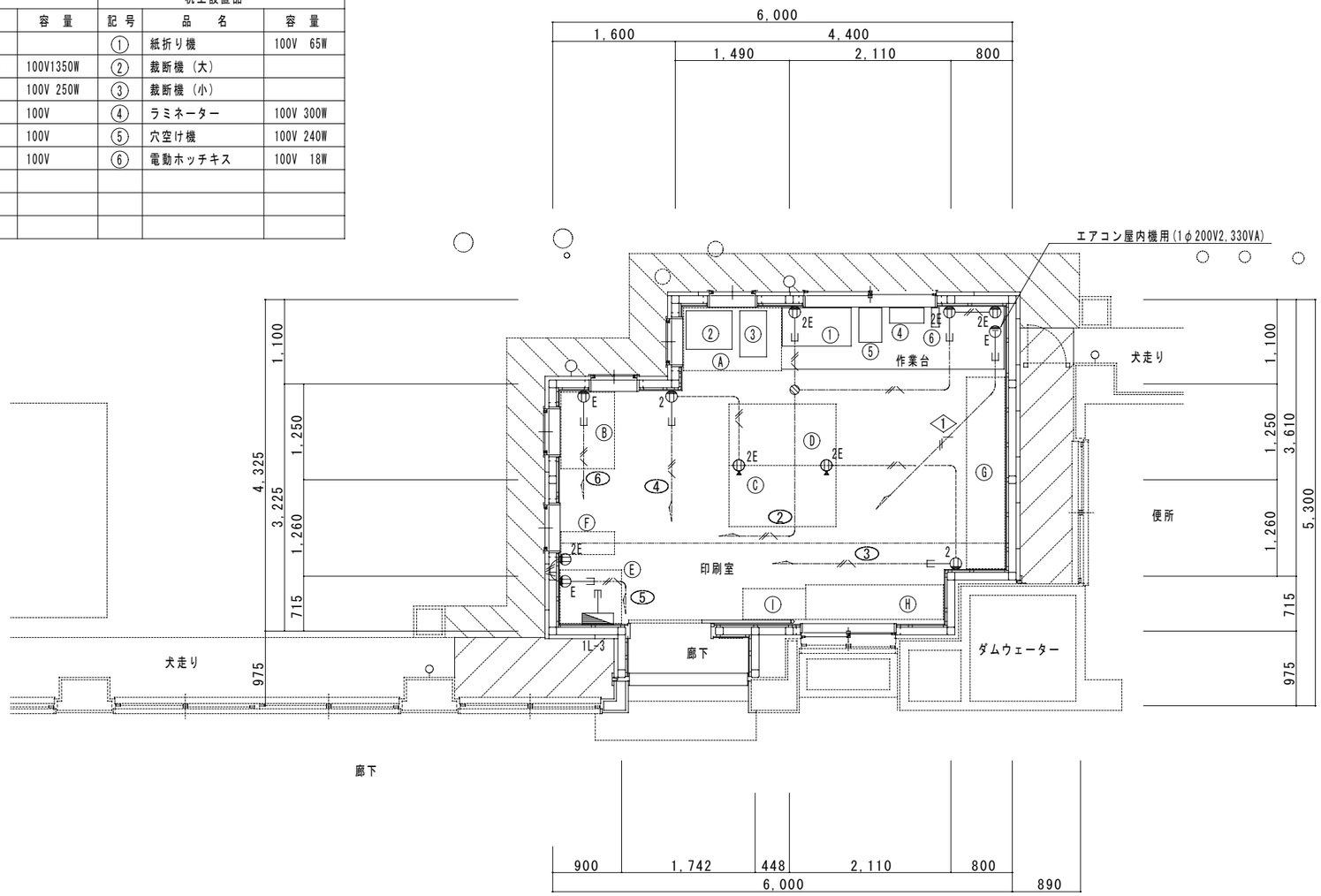
凡 例

- ●L 2 線式確認表示灯内蔵スイッチ 1P4A(24H換気扇表示を付ける)
- ㊢F 換気扇用コンセント
- ⓀK 機械警備用アウトレット（ブランクプレート丸取付）
- 既存コンクリート壁 貫通,補修(天井内)

増築平面詳細図 S=1/50

承認	設計	担当	企画	縮尺 S=1/50 設計年月日	工事名称	春日居小学校印刷室 増築工事	E-4
					図面名称	電灯,機械警備配管 設備図	NO

備　品　リ　ス　ト（別途工事）					
床上設置品			机上設置品		
記　号	品　　名	容　量	記　号	品　　名	容　量
Ⓐ	模造紙用戸棚		①	紙折り機	100V　65W
Ⓑ	カラープリンター(LAN)	100V1350W	②	裁断機（大）	
Ⓒ	印刷機（現在）	100V 250W	③	裁断機（小）	
Ⓓ	印刷機（予定）	100V	④	ラミネーター	100V 300W
Ⓔ	コピー機	100V	⑤	穴空け機	100V 240W
Ⓕ	シュレッダー	100V	⑥	電動ホッチキス	100V　18W
Ⓖ	ステール棚				
Ⓗ	戸棚（大）				
Ⓘ	戸棚（小）				



増築平面詳細図 S=1/50

注　記

1　壁内ケーブルは　PF管にて保護の事。

凡　例

2E　コンセント（2P15A*2E)アップ式

特記なき配管配線は下記による

EEF2.0-3C
IE2.0*2 E2.0 PF(16)
IE2.0*2 E2.0 PF(16)

承　認	設　計	担　当	企　画	縮　尺 S=1/50	工事名称	春日居小学校印刷室 増築工事	E- 5
				設計年月日	図面名称	コンセント 設備図	NO